考え読みノート

『ボールを見つめて』

それは、わたしが野球のしんぱんを始めたころのことである。

試合は、ちょうど九回の裏だった。三対三。二死満るい。

選手も観しゅうも一様にかたずをのむ。バッターが構える。ピッチャーの投球モーション。

第一球。

「ストライク」

わたしは、声高くさけんだ。